



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：683千円

第8回 産学共同国際デザインワークショップ

目的・趣旨

国際的かつ実践的な人材育成と地域の魅力発掘・発信のため、静岡県の観光振興をテーマに、トルコ・イズミル経済大学と本学学生による産学共同国際デザインワークショップを行った。

日時・場所

令和5年4月1日～令和6年3月20日
下田総合庁舎別館など伊豆半島賀茂地区

体制

(実施代表者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	高山 靖子
	デザイン学部	デザイン学科	教授	服部 守悦
	文化政策学部	国際文化学科	教授	エドワード・サリッチ
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	宮地 良治

共催・後援等

(共催) 南伊豆町役場 企画課
(協力) 静岡県賀茂地域局 東伊豆町

内容

国際的かつ実践的な人材育成と地域の魅力発掘・発信のため、トルコ・イズミル経済大学と本学学生が伊豆半島賀茂地区を拠点として活動し、静岡県のガストロノミーツーリズムをテーマにデザイン提案を行った。
この一環として、静岡県賀茂地域局においてイズミルと静岡県の大学と行政関係者による公開イブニングシンポジウムを開催したり、地域住民の協力を得ながら体験調査を行ったりして、住民との交流も図った。
ワークショップ後半では、学生指導のために日本を代表するグローバル企業より若手企業デザイナー4名を招聘した。途中、感染症流行により中断を余儀なくされたが、ICTツール上でディスカッションを継続し、遠隔にてプレゼンテーションを行った。



結果・成果

2019年以来の対面となった本ワークショップでは、大学間の国際交流活動を地域にも広げることを試みた。
公開イブニングシンポジウム（東アジア文化都市2023静岡県認証プログラム）には、賀茂地域の各首長の他、高校生を含む一般市民ら約120名が参加し、トルコ学生の視点による伊豆賀茂地域の観光資源の分析や、イズミル経済大学教員や行政関係者による観光戦略事例の紹介とともに、南伊豆町長と観光協会会長による賀茂地域の魅力と課題が提示され、有意義なディスカッションとなった。
学生達は、地域住民との交流を含めた体験プログラムを通して地域の魅力と課題を発見し、賀茂地域の独自性を生かすデザイン提案に繋げることができた。学生指導に参加した企業デザイナーからは、国際チームをまとめる体験から多くの気づきを得たとのコメントを頂いた。また、感染症による中断を補ったICTツールの活用では、企業デザイナーからの協力の得やすさや全員の活動の俯瞰が容易になるなど多くの知見を得た。
本ワークショップは新聞にも取り上げられ、本学の取り組みや海外事例による学びを広く伝えることができた。

